

## 平成 27 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立常盤小学校 学校協議会

## 1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。学力の向上（B）、道徳心・社会性の育成（B）、健康・体力の保持増進（B）の3つの視点について、個々の取組内容をみれば十分成果が見られる指標もある。

## 2 年度目標ごとの評価

## 年度目標：学力の向上

- 平成 27 年度の全国学力・学習状況調査の結果から、国語・算数を観点別に分析し、課題となる項目について、正答率の向上を目指す。（カリキュラム改革関連）
- 昨年度の学習理解度到達診断の結果から、全学年の観点別分析を実施し、課題となる項目について、正答率の向上を目指す。（カリキュラム改革関連）
- 本年度の学校児童アンケート調査で「学校の勉強はわかりますか」の項目について、肯定的に回答する割合を全体の 90 %以上にする。（カリキュラム改革関連）
- 本年度の学校保護者アンケートの「子どもは授業がわかりやすいと言っている」の項目について「当てはまる（どちらかと言えば、当てはまる）」という肯定的回答の割合を全体の 90 %以上にする。（カリキュラム改革関連）

○全体の達成状況は B となっている。個に応じた学習指導のみ C となっているが、6 学年中 3 学年で習熟度別指導の計画が達成できなかったためである。年度目標達成の取組内容をみれば個々達成できていると考えられる。また、全国学力・学習状況調査の結果も全国平均・大阪市平均を上回る好結果となった。

## 年度目標：道徳心・社会性の育成

- 本年度の本校の児童アンケート調査の結果から、次の各項目について、「当てはまる（どちらかと言えば当てはまる）」という肯定的回答の割合を全体の割合を 90 %以上にする。
  - ・自分にはよいところがありますか。
  - ・学校のきまりをまもりましたか。（カリキュラム改革関連）
  - ・友だちのよいところを見つけられましたか。

○本年度末の校内調査で、不登校児童の数を前年度より減少させる。（カリキュラム改革関連）

○達成状況は B となっている。年度目標達成の取組内容をみれば個々達成できていると考えられる。安全教育・安全管理については防災訓練等、計画的に実施しているが、地域からの要望もあり、区や地域と連携した取り組みを検討する必要がある。

### 年度目標：健康・体力の保持増進

- 全国体力・運動能力、運動習慣調査で各学年の平均得点を大阪の平均よりも1種目以上上回る。  
(カリキュラム改革関連)
- 「保健調べ」で、健康な生活習慣を向上させる。  
(カリキュラム改革関連)
- 本年度の学校児童アンケートで「配膳された給食を残さず食べることができましたか」の項目で、児童の肯定的答の割合を90%以上にする。(カリキュラム改革関連)

○達成状況はBとなっているが、年度目標達成の取組内容をみれば個々達成できていると考えられる。全国体力・運動能力、運動習慣調査の結果についても全国平均を上回る種目も1つあり、さらに大阪市平均については男女とも3種目上回っている。また、食育については栄養教諭による指導をはじめ、計画的に実施することができA評価となっている。

### 3 今後の学校運営についての意見

- 防災教育について去年も要望したが、区内の他の地域では土曜授業で地域と連携した取り組みを行っているところもある。次年度、地域として高学年で体験を伴う訓練を実施したい。検討を加えてほしい。
- あいさつの習慣について、児童の見守りをして感じることだが、子どもはよくしてくれるが、保護者はあまりしてくれない実態がある。児童については学校の取り組みが効をそうしてよく挨拶をしてくれる。
- 全国体力・運動能力・運動習慣調査の結果について、児童数の多さ、運動場の狭さ等、場所・時間等確保の難しさの問題がある。児童の運動への興味付けを行うことによって、今後の運動へつながると考えられる。そういう意味からも数値が上がらずともいいのではないか。